

「お年玉」に関するアンケート調査結果 ～「お年玉」、家計は厳しくても気持ちは変わらず～

<調査結果のポイント>

- ◆ お年玉は、そのほとんどを「親戚の子ども」「自分の家族」にあげており、懐具合の良し悪しにかかわらず、毎年ほぼ同じ程度の金額を支出している。家計環境は厳しい状況にもかかわらず、「お年玉」をあげる気持ちは変わらない、と言えそうだ。
 - ◆ 標準的な金額ゾーン
「小学生未満」は、2,000円を中心ゾーンとしてバラツキ。
「小学生」は、3,000円を中心ゾーンとして、高学年になると5,000円も徐々に増加してくる。
「中学生」は、5,000円が圧倒的。
「高校生」は、5,000円派と10,000円派にきれいに二分。
「大学生・専門学生」、「社会人」は、完全に10,000円ゾーン。
- ・ お年玉を「あげた」と回答した人は75.5%。
 - ・ あげた人数は、「1人～2人」が31.3%、「3人～4人」が29.9%。
 - ・ あげた相手は、「親戚の子ども」が98.6%、「自分の子ども」が46.8%となった。「親戚の子ども」はほとんど「お年玉」をもらっている。
 - ・ あげた相手の年代は、「大学生・専門学生まで」が35.1%、「小学生まで」が20.8%、「高校生まで」が17.9%となった。
 - ・ 支出総額の平均は「25,932円」となった。
 - ・ 支出総額を昨年と比較すると、「ほぼ同じ」が66.7%、「増えた」が18.3%、「減った」が15.0%となった。
 - ・ 増加理由では、「あげる人の増加」が52.0%、次いで「あげる人の年齢が上昇」が50.0%となった。減少理由では、「あげる人数が減少」が87.8%、「家計に余裕なし」が9.8%、「収入の減少」が7.3%となった。

<調査概要>

- (1) 調査時期：平成22年1月
- (2) 調査対象：足利銀行関連会社に勤務する社員・パート400名
- (3) 有効回答者数：371名（回答率：92.8%）
- (4) 回答状況

性別

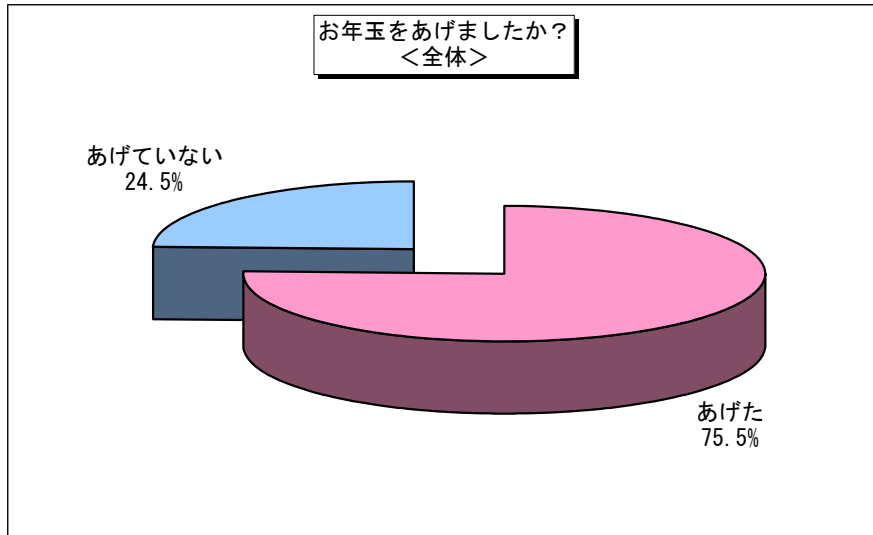
男性	女性	合計
16.9%	83.1%	100.0%

年代構成

20代未満	20代	30代	40代	50代以上	合計
2.3%	24.0%	11.7%	22.7%	39.3%	100.0%

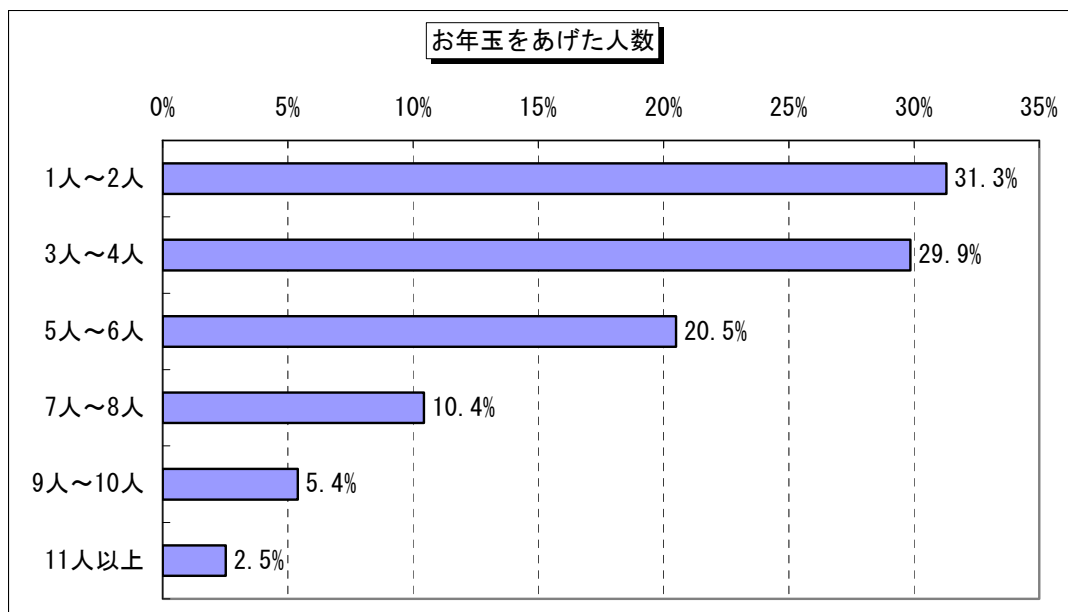
1. 今年のお正月に「お年玉」をあげましたか？

・お年玉を「あげた」と回答した人は75.5%、「あげていない」と回答した人は24.5%となった。



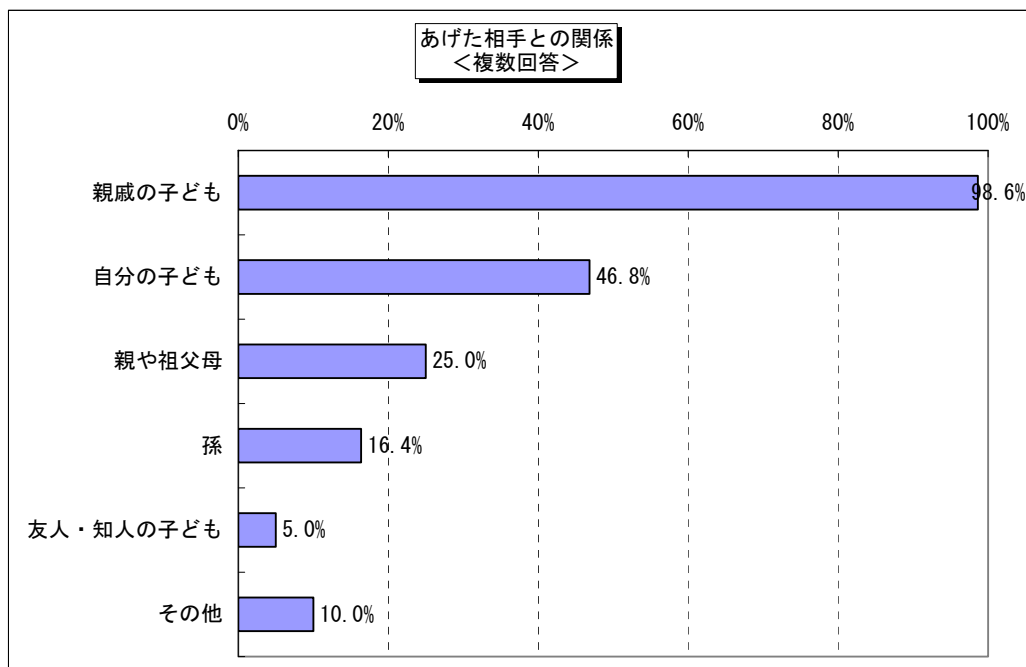
2. 「お年玉」は何人にあげましたか？

・「1人～2人」が31.3%、「3人～4人」が29.9%、「5人～6人」が20.5%となった。「11人以上」は2.5%であった。



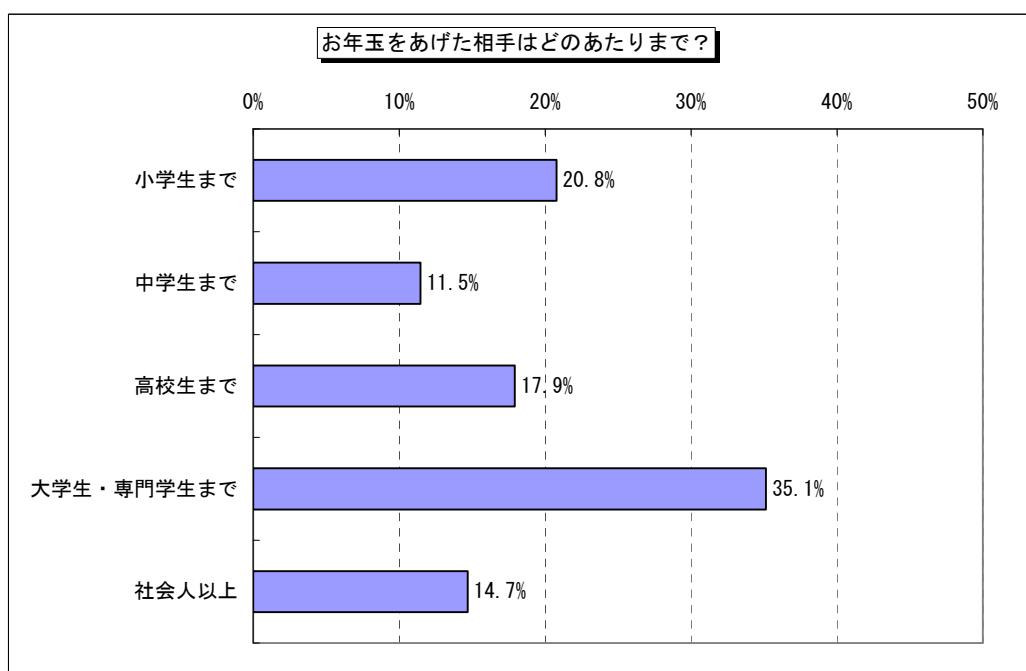
3. 「お年玉」をあげた相手との関係は？

- ・「親戚の子ども」が98.6%、「自分の子ども」が46.8%、「親や祖父母」が25.0%となった。
- ・「その他」には兄弟姉妹への回答が多かった。



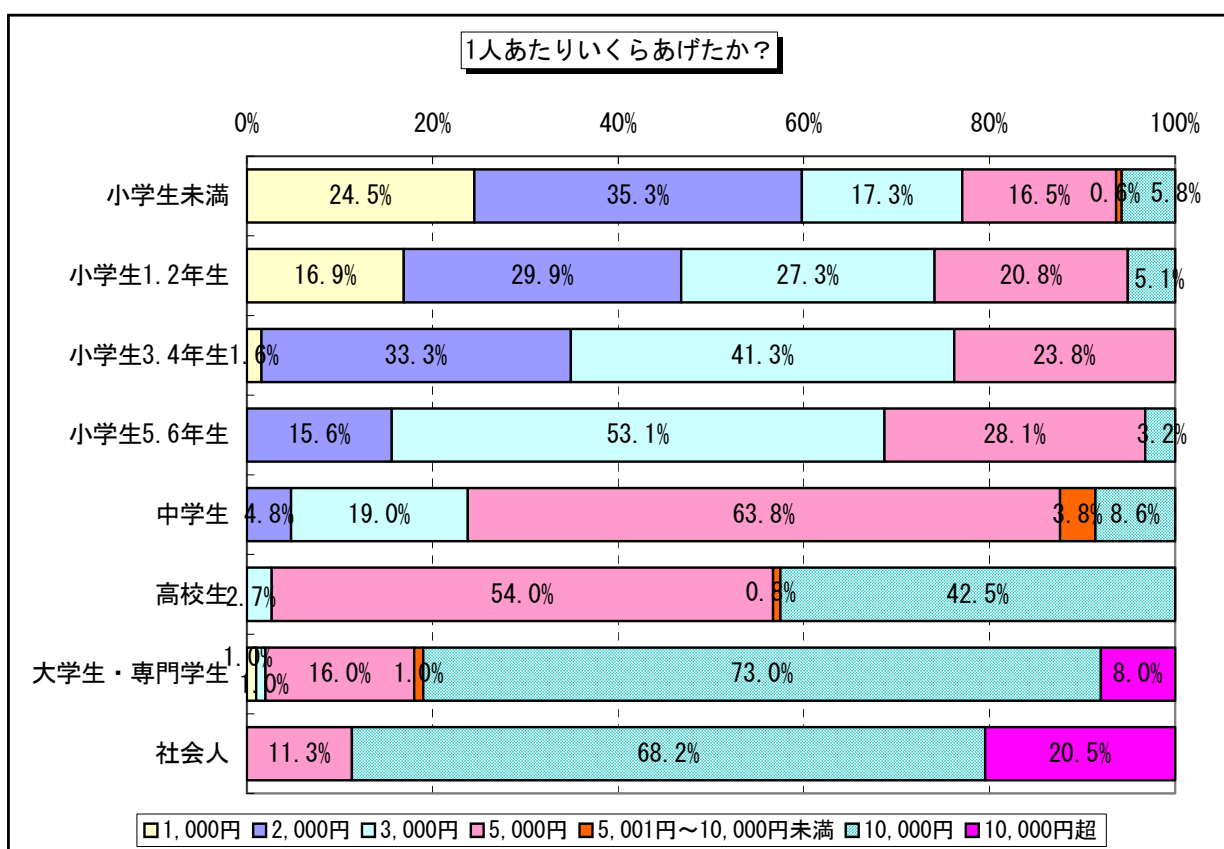
4. 「お年玉」をあげた相手はどのあたりまで？

- ・「大学生・専門学生まで」が35.1%、「小学生まで」が20.8%、「高校生まで」が17.9%となった。全体の85.3%が学生にお年玉をあげている。



5. どの年代に1人あたりいくらお年玉をあげましたか？

- ・ 「小学生未満」は、2,000円を中心ゾーンとして、各金額層にバラツキがみられ、10,000円も比較的多い。このゾーンは乳幼児から幼稚園生まで幅広く、年齢状況に応じた柔軟な対応がうかがえる。
- ・ 「小学1・2年生」は、2,000円（29.9%）と3,000円（27.3%）がほぼ拮抗する。
- ・ 「小学3・4年生」そして「小学5・6年生」になると、3,000円を中心ゾーンとして、5,000円も徐々に増加してくる。
- ・ 「中学生」は、5,000円（63.8%）が圧倒的に多く、主流となる。
- ・ 「高校生」は、5,000円派と10,000円派にきれいに二分された。
- ・ 「大学生・専門学生」、「社会人」は、完全に10,000円ゾーンである。「社会人」では、10,000円超も目立つ。



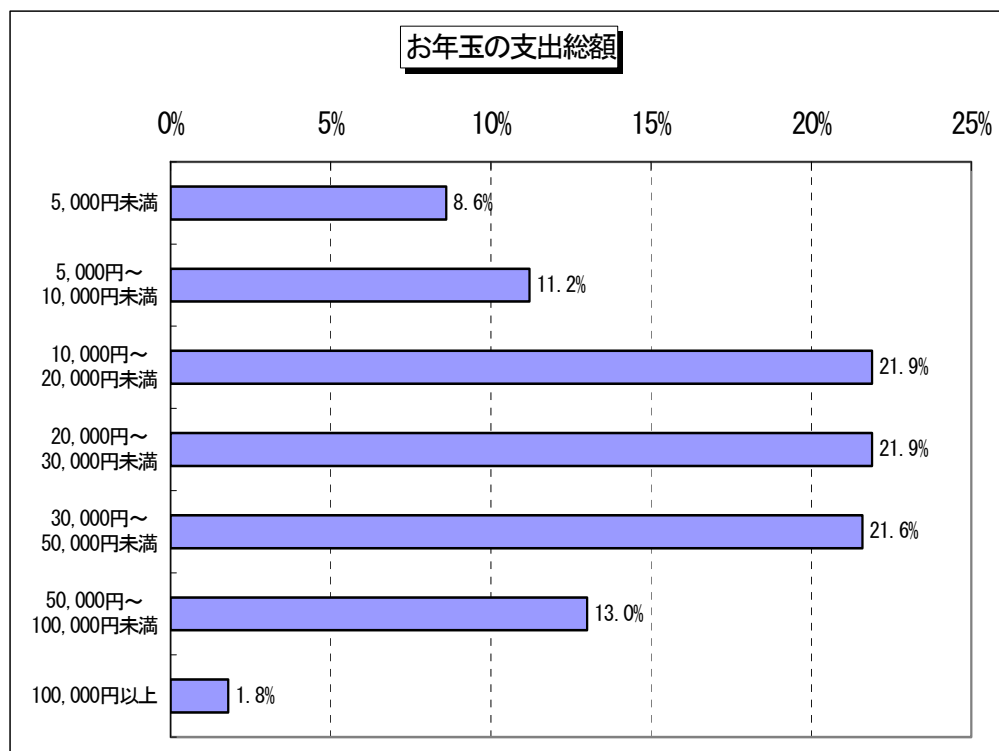
<参考>

(円)

	小学生未満	小学生1・2年生	小学生3・4年生	小学生5・6年生	中学生	高校生	大学生・専門学生	社会人
平均	2,918	3,143	3,111	3,625	4,990	7,080	9,910	12,222

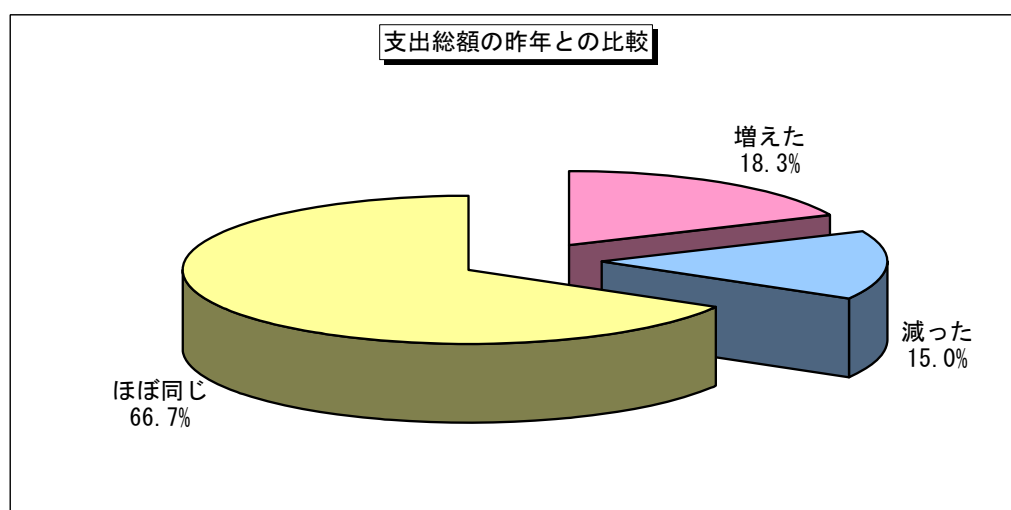
6. 「お年玉」の支出総額はいくらでしたか？

- ・支出総額の平均は「25,932円」となった。
- ・「10,000円～20,000円未満」が21.9%、「20,000円～30,000円未満」が21.9%、「30,000円～50,000円未満」が21.6%となった。



7. 支出総額の昨年との比較

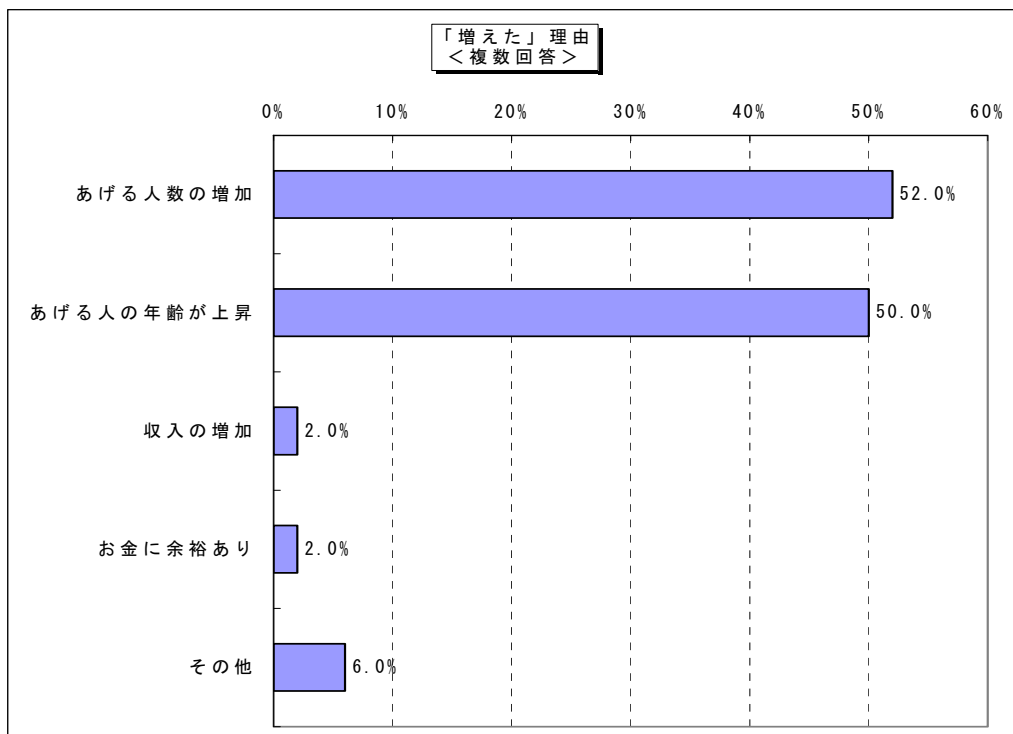
- ・支出総額を昨年と比較すると、「ほぼ同じ」が66.7%、「増えた」が18.3%、「減った」が15.0%となった。



8. 増減理由

<増加理由>

・「あげる人の増加」が52.0%、次いで「あげる人の年齢が上昇」が50.0%となった。



<減少理由>

・「あげる人数が減少」が87.8%、「家計に余裕なし」が9.8%、「収入の減少」が7.3%となった。

